

2016年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2017年3月19日
発行人 日本基督教団 関東教区
埼玉地区委員会
委員長 川 柴 三 郎
鴻巣市東1-1-27
http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/
印刷所 (株)シャローム印刷

埼玉地区新年合同礼拝

二〇一七年の埼玉地区新年合同礼拝は、教師委員会が中心となって準備をし、一月九日(月・祝日)午前十時三十分から三区毎に各区内の教会を会場にして捧げられました。ここに、各区ごとの礼拝と交流の様子をご紹介します。

一区 わたしはあなたを贖う

埼玉大通り教会 川添 義和

埼玉新生教会にて、最寄り一区の新年合同礼拝が執り行われました。出席者一〇〇名、参加教会は二十二教会・伝道所でした。

説教は、子ども向けと全体向けに語られ、どちらも同じ聖書箇所(イザヤ書四十三章一〜五節)が用いられました。子ども向けは、田中かおる牧師(安行教会)が担当。「私は、あなたを贖った」ということを、子どもたちにわかりやすく語ってくださいました。

全体向け説教は、深谷春男牧師(東京聖書学校吉川教会)によって「贖い、愛、臨在」と題してお語りくださいました。

深谷牧師は、この一年で一番恵まれたのは、この聖書箇所であったと証しされ、続いて「贖い」について語られました。贖いこそ、罪の赦しが深く示されていること。最も人が求めている事は罪の赦しであること。

神が主イエスの十字架の贖いと復活において罪を赦されたことを力強く語ってくださいました。

寒い日でしたが、多くの方々と共に礼拝に与り、とても恵まれた日でした。(教師委員会書記)



二区 主にあつて一つである 恵みを分かちあいつつ

東所沢教会 指方 周平

武蔵豊岡教会を会場に、最寄り二区の十九教会・伝道所より一三一名が集められて新年合同礼拝が守られ



ました。前半は、澁谷実季牧師(毛呂教会)が、ルカによる福音書十章三十一〜三十七節より「やさしいサマリヤ人」と題して子どもたちに主イエスのみ言葉をとりついでくださいました。全体に向けては、土橋誠牧師(飯能教会)が「前へ、前へ」と題してフィリピの信徒への手紙三章十二〜十四節、ルカによる福音書十四章三十四〜三十五節より心励まされるメッセージを届けてくださいました。

たね

「アメリカ 第一」「TPP の離脱表

明」や「医療保険制度改革(オバマケア)」の撤廃に向けた大統領令に署名するなど、オバマ前政権が積み重ねたレガシー(政治的遺産)を次々と撤回した(朝日新聞一月二十二日)。

トランプ大統領に代わったとたん、オバマ大統領時代と全く逆の方向に政策が向いているように思う。政治の世界ではこんなことは日常茶飯事なのだと思えばなんとすることはないのであるが私にはアメリカの選挙制度や政治のことは解らないが、これでは納得がいかないと感じざるを得ない。

民主主義(正しい)ってなんだろう?多数決って何だろう?と思うのは私だけではないのではないかと。昔から、(いつか)正義は勝つと思われてきたが、正義が勝つのではなく、強いものが正義なのだ、残念ながら思わざるを得ない。

昨今の私たちの身の回りをみても、そのようなことが多いように思えるのは私だけだろうか。しかし、私たちだけでも、正しいものが勝つということを感じて日々を送りたいと思う。(金刺)

後半は「日本基督教団信仰告白」を一同で告白した後、山岡創牧師(坂戸いずみ教会)、森淑子牧師(狭山教会)の司式によって聖餐に与り、普段は離れた場所で礼拝を守っている者たちが、主にあつて一つである恵みの事実を共に喜び分かち合いました。



「成人の日」と重なったこの礼拝には二名の新成人が出席しておられ、澁谷弘祐牧師(毛呂教会)が新成人への祝福の祈禱をしてくださいました。礼拝後は武蔵豊岡教会の皆様が美味しいカレーを用意してください、心身共に満たされて、それぞれが遣わされております日常の現場へと送り出されて行きました。

(教師委員会委員)

三区 合同礼拝で味わえる 一致のめぐみ

秩父教会 温井 節子

三区は熊谷教会で開催されました。熊谷の気候は晴天。三区内一部で積雪。出席者は六十八名、十五教会・伝道所でした。

説教は川染三郎牧師(鴻巣教



会)が創世記一章一〜五節から「光あれ」と題して、説き明かされました。「光」とは神様の愛が示されたこと、と語られました。司式者は温井節子牧師(秩父教会)、奏楽者は、工藤光子姉(熊谷教会)が奉仕されました。聖餐式は三羽善次牧師(和戸教会)の司式により与りました。合同礼拝で味わえる一致という大きな恵みに感動しました。子どもへの説教は竹内成子伝道師(深谷西島教会)が「心を尽くして主に信頼し、自分の分別に頼らず」とのみ言葉から語られました。

今年は一人的新成人(久喜復活伝道所)がおられ、東海林昭雄牧師(菖蒲教会)が成人の祝福の祈りをされ、神様の祝福を全会衆で喜びました。

愛餐会は軽食を共に頂き、主にある温かい交流を持つことが出来ました。地区委員長の御挨拶、今年の集案案内等、各教会が分かち合いの時を共有しました。

会場教会においては様々な御配慮をいただき、ありがとうございました。

(教師委員会委員)

十CS教師研修会

武蔵豊岡教会 池山 晃

埼玉地区のCS教師研修会が、一月二十八日(土)に、埼玉和光教会で開かれました。同研修会は近年、隔年での開催となつていきます。

テーマは「障がい児と教会教育」、講師に埼玉YMCA教育アドバイザーの小関京子姉(武蔵豊岡教会会員)をお迎えしました。参加者は十四教会四十五名にのほりました。

参加者による擬似体験ワークショップでは、「鏡を見ながら迷路をペンでたどる」「(しあわせ)〈きちん)と)などの語を絵で表わす」などの作業に取り組みました。ねらいは、子どもたちが抱えるような「やろうとしてもできないもどかしさ」を体験することであり、さらに、そのもどかしさがなかなか気づかれにくい事実、思いをはせるといふことでした。子どもたちに対して私たちができるのは、出来ないのを出来ないようにする、ではなく、出来ないことにまず気づき、そして寄り添うことであり、このようになり組みはその第一歩であると感じました。

このあと分団と全体での意見交換が活発に行われ、午前十二時三十分から始まった研修会は、ほぼ予定通りの午後二時すぎに閉会となりました。実り多い学びの時をととのえられ、CS教師のさらなる働きをお支えいただいたことに感謝です。

(教育委員会委員)

第四十三回 埼玉地区 教会全体修養会のご案内

- *日時 八月一日(火)〜三日(木)
- *会場 軽井沢南ヶ丘倶楽部
- *主題 「慰めの言葉が作る 共同体・教会」
- *講師 加藤常昭先生 (神学者)

今年、二年毎に開催する埼玉地区教会全体修養会を開催する年です。

夏のひと時、しばし日常から離れ、軽井沢の地で加藤常昭先生を通して主のみ言葉に聞き、共に過ごしたくご案内します。是非、多くの方々がご参加くださいますようお願いしております。

詳細は新年度に各部会あてに送付します。

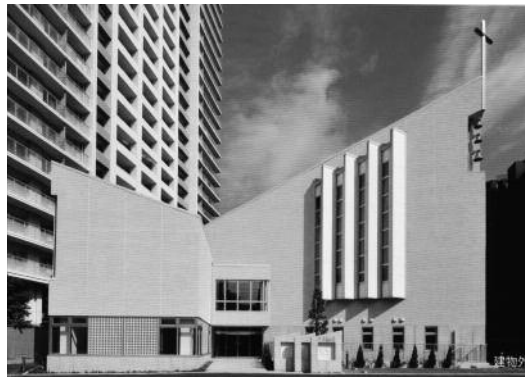
(修養会委員会)

●祝献堂

この岩の上に わたしの教会を建てる

大宮教会 正田國磨 氏

この度、二月十八日(土)に
関東教区の諸教会・伝道所の
献金と祈りのご支援を頂き、大
宮教会の新会堂の献堂式を無
事に終えることができ、心より
感謝いたします。



教会は、全体協議を重ねる中
で、これも神の御計画の内にあ
ると前向きに検討を進めまし
た。一番の課題は、もっと広い
別の土地を得て建築するか、
百坪収用されて二百坪になる
現在地に建築するかでありま
した。最終的に先達たちが残し
てくれた現在地で福音宣教の
業に励むことが神のみ旨であ
るとの結論になりました。

大宮駅東口地域開発計画の
結果、大宮区役所や図書館等
が、教会の南側にある現市民会
館の所に移転・新築となり、教
会の周辺は大宮区の中心部に
なります。そのメイン通りにそ
びえ建つ教会になります。

大宮教会の「すべての人を喜
びあふれる神の家族へ」のビ
ジョンをもとに、次の基本構想
を教会全体で合意しました。

- ① 地域に福音を証しする教会
- ② 礼拝を喜び生きる教会
- ③ 小グループからなる教会
- ④ 高齢者・障がい者を配慮す
る教会
- ⑤ 地区や教区に仕える教会
- ⑥ 信仰の継承に力を注ぐ教会

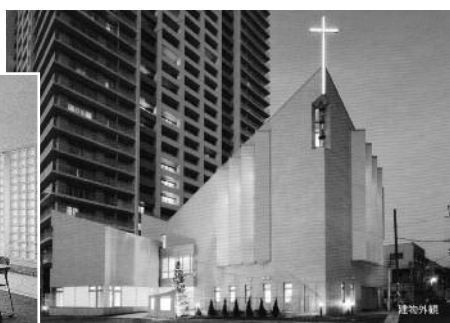
二〇〇八年十二月にさいたま市
の「氷川緑道西通線」街路
整備事業が知事認可を受けた
旨、土地収用法の適用を受ける
通知を受けました。また会堂が
建って十五年ばかりで、教員が
は驚き戸惑いました。しかし、

二〇一三年七月、大岡山建築
設計研究所を設計・管理に、松
井建設を施工業者に決定し、二
〇一四年十一月三十日に起工
式を行いました。旧会堂をその



まま用いて礼拝及び諸集会を
行いながらの建築で、翌年の二
〇一五年十一月三十日に主礼
拝堂を中心とした第一期工事
が完成しました。十二月六日に
旧会堂で最後の感謝礼拝を献
げました。

二〇一六年一月より旧会堂
の撤去と小礼拝堂、多目的ホー
ル、地下ドライエリア建築など
の第二期工事が始まり、十月三
十一日に工事が完了しました。



二〇一七年二月十八日(土)
教区諸教会及び関係者一六〇
人をお迎えして献堂式を行う
ことができ、その折、皆様から
お祝いの言葉をいただき大変
励まされました。

定礎式の定礎板に「この岩の
上に」(マタイ十六章十八節)
を刻みました。ペトロが主イエ
スの問いに「あなたはメシア、
生ける神の子です」と告白し
たことに対し、主イエスは「わ
たしはこの岩の上にわたしの
教会を建てる」と言われまし
た。教会は人の集まりですから
人々の諸々の力に支配されが
ちですが、生ける真の教会とは
イエスはメシア、生ける神の
子です」と告白する信仰者た
ちの上に建て上げられる「わた
し(イエスさま)の教会」なの
です。さいたま市近在の人々が
「イエスさまの教会」に連な
り、喜びあふれる神の家族とし
て加えられることを祈り願っ
ています。

基本構想に「地区や教区に仕
える教会」を掲げ、会堂内に教
区事務所を設置しました。今ま
でと変わりなく、新会堂を地区
や教区の宣教活動に用いてい
ただければと願っています。

十三区合同教師会報告

国際愛伝道所 許昌範

三区合同教師会が、一月三十日(月)に東大宮教会においてもたれました。久保島泰牧師(東大宮教会)の説教による開会礼拝の後、正田國磨呂牧師(大宮教会)の講演「わたしの伝道論ーキリストの弟子としての信徒養成」がなされました。

今回は四十名の教師の参加がありました。地区内の教会に仕える教師が一堂に集まるのは、七月の教師一泊研修会とこの三区合同教師会です。これは貴重な集会の時と心得て教師委員会では毎年、企画をしてきました。

正田牧師は、教会の伝道を考える際に、主の弟子として歩む喜びを考える必要や主の弟子として歩む喜びを考える必要を、ご自分と大宮教会での経験を通して語られました。

「キリストの弟子としての信徒養成」は、一九九三年五月に、韓国のサラン教会の弟子訓練指導者セミナーに日本人牧職者二十人ほどで参加して、オクハンウム牧師の弟子訓練は、ウエストミンスター教理問答をベースにしている、これこそ

日本の教会に必要なのだと確信を与えられたと語られました。また、主の弟子訓練の本質は、一・主のみ言葉を聞いてとどまること、二・互いに愛し合うこと、三・主に似た者と成長すること、四・主の愛に立ち帰ることを語られました。

主の弟子訓練を受けることを通して、イエス様と深く出会うことができず。それは手紙の封を切って開けるからこそ、その中身を知り、味わうことができるのと同じではないかと語られました。

最後に、食事をしながらそれぞれの紹介や挨拶をしました。終日、教師の学び・交わりが豊かに与えられ感謝でした。これからも地区の教会が祝福され、神の栄光のためによい働きが出来ますように、お祈り申し上げます。

(教師委員会委員長)



十信教の自由と平和を求めらる2・11集会報告

和戸教会 後藤 龍男

二〇一七年二月十一日(土)午前十時から上尾合同教会で開催されました。四十七回目となる今年には「社会主義国家に生きるキリスト者」中国の教会と信教の自由」と題して、薛恩峰氏(桜美林大学チャペルン・教員)が講演。参加者は講師を含め八十名でした。

薛先生によると、中国では共産党支配の国家体制の中で、近年キリスト教徒が急増しており、憲法上では信教の自由はあるものの厳しい規制のもとに置かれ、政府に登録しなければ合法的な宗教団体と認められず、外国人は国内での宣教活動は勝手に行うことが出来ないということでした。

中国のプロテスタント教会は大別すると政府公認の「三自愛国運動」に加わる教会と「非登録教会」いわゆる「家の教会」があり、厳しい管理下にあるながら、今や中国のキリスト教徒は八千万人に上るといいます。講演を通して今日本に住むキリスト者として多くの示唆を与えられました。

(社会委員会)

十青年部 冬のフェスタ

埼玉和光教会 小林あゆみ

二月四日(土)狭山教会にて八教会から青年十八名、教師二名、計二十名で冬の集いを開催しました。

今年度はオープンサンド(それぞれが好きなパンに具材を挟む)をいただき、自己紹介をした後、ビンゴゲームをして楽しみました。

ある教会の方から手作りパンの差し入れを頂き、美味しいサンドイッチが出来上がりました。



ビンゴゲームではビンゴを出した人からくじを引き、一風変わった景品が当たりました(はちみつすくい棒、掃除セット等)。

最後に森淑子牧師(狭山教会)の説教で礼拝をささげました。

あつという間でしたが、青年たちにとつて、良い思い出のひと時となったと思います。以下参加者の声です。

★フランスパンを斜めに切るのが難しかったが、上手く切れて、ビンゴゲームも楽しかったです。次回はもっと青年が集まっ

てほしい。
★ビンゴゲームでビンゴしても、嬉しい景品が当たるかどうかはくじ運次第という、先が読めない展開が楽しかった。

★久しぶりに参加した青年もいて、元気な顔で再会できたことが嬉しかった。サンドイッチのパンの種類の中に「おとうふパン」や「米粉パン」、「全粒粉パン」など普段味わうことができないパンをいただき、幸せだった。

埼玉地区青年部では、春、夏(埼玉地区中学生、KKS、青年合同キャンプ)、冬の集い、また有志で聖書の学びの会をしています。

青年部は新高校三年生から対象となります。もし教会に青年がいまいたら、ぜひお声掛けください。二〇一七年度も青年部の活動をお覚え頂けると幸いです。よろしくお願ひいたします。

地区委員会報告

二〇一六年度第五回委員会

日時 十一月十五日(火)
会場 埼玉新生教会
出席 十人
陪席 無

主な報告

●地区内の教会・教師の報告

○就任式執行

・埼玉大通り 川添義和(正)

○辞任

・北本 温井節子(正)

●会計報告

九月十六日から十一月十四日分

●各委員会・各部報告

●主な協議事項

一、「埼玉地区ハンドブック」の作成について

費用について検討を始める。

二〇〇八年度に作成したときの必要経費を調査し、次回協議する。

二、伝道協力協議会について

第一回協議会の費用については、伝道資金を充当することを承認した。

第二回協議会を二〇一七年二月ごろに開催したいとの提案を受けたが、詳細は次回検討する。

次回の開催は地区委員会が主催することを確認した。

三、クリスマスプレゼント(地区互助)について

牧師五名、隠退教師十六名合計二十一名、総額十三万円を実施することを承認した。

●閉会祈祷・栗原初音

二〇一六年度第六回委員会

日時 一月十七日(火)

会場 埼玉新生教会

出席 九人

陪席 無

主な報告

●地区内の教会・教師の報告

○辞任

・羽生伝 伊早坂貴宏(補)

○就任

・羽生伝 星山京子(補)

○按手礼

・愛泉 正田義也(正)

・東京聖書学校吉川教会

佐々木千沙子(正)

●会計報告

十一月十五日から一月十七日分

●各委員会・各部報告

●主な協議事項

一、新年合同礼拝開催の報告と申し送りに関する件

輸送時の借用品を破損(聖餐用具)したことを受けて、委員会の備品として購入・管理

できないものかとの意見が教師委員会よりなされた。継続審議とする。

二、地区教会互助「教師謝儀互助」

地区伝道援助申請の件 以下の申請を承認した。地区教会互助「教師謝儀互助」の申請

鳩山伝道所、深谷西島教会、加須教会

地区伝道援助の申請

加須一万五千元、深谷西島一万四千五百円、久喜復活二万

三千二百二十円

三、地区総会について

総会奉仕者の候補者・被選挙権のない正議員・日程・議員登録・議案報告書に関する提出書類について確認と手配をした。

四、第二回伝道協力協議会について

日程・場所・役割分担を確認した。

場所・埼玉新生教会

日時・二〇一七年一月二十九日(日)午後三時三十分から六時三十分

●閉会祈祷・町田さとみ

●地区委員長

●主な協議事項

一、地区総会について

推薦正議員、推薦准議員の議員登録、陪席要請と総会奉仕者について承認した。

総会議案(委員長報告・宣教計画・予算案)を承認した。

事務準備を三月十七日(金)午後二時より上尾合同教会で行うことを確認した。

二、教団伝道資金運用について

日野原記念上尾栄光、久喜復活伝道所、桶川伝道所のホームページ作成について承認した。

「埼玉地区ハンドブック」を作成することを承認した。

印刷会社と協議をし、二〇一七年度に発行できるように準備を進める。本件は継続事業とし、実務については次年度委員会で協議することを承認した。

教師委員会から提案された委員会所有備品としてプラスチック製聖餐カップを購入し、管理することを承認した。

二〇一六年度第七回委員会

日時 二月十七日(金)

会場 埼玉新生教会

出席 九人

陪席 無

主な報告

●会計報告

一月十八日から二月十六日分

●各委員会・各部報告

●主な協議事項

一、地区総会について

推薦正議員、推薦准議員の議員登録、陪席要請と総会奉仕者について承認した。

総会議案(委員長報告・宣教計画・予算案)を承認した。

事務準備を三月十七日(金)午後二時より上尾合同教会で行うことを確認した。

二、教団伝道資金運用について

日野原記念上尾栄光、久喜復活伝道所、桶川伝道所のホームページ作成について承認した。

「埼玉地区ハンドブック」を作成することを承認した。

印刷会社と協議をし、二〇一七年度に発行できるように準備を進める。本件は継続事業とし、実務については次年度委員会で協議することを承認した。

教師委員会から提案された委員会所有備品としてプラスチック製聖餐カップを購入し、管理することを承認した。

二〇一六年度第七回委員会

日時 二月十七日(金)

会場 埼玉新生教会

出席 九人

陪席 無

員会を二〇一七年三月二十日(月)総会後に行うことを確認した。

●閉会祈祷・野村忠規

編集後記

毎年度、三回発行する地区通信の二〇一六年度の編集委員会は、「地区の交わりを深めよう」の地区主題のもとに、地区委員会を中心とした各委員会・各部会が企画し開催した行事・集会の様子を寄稿していただき、地区の活動や働きが、このようにして成され、またあるということを可能な限り皆様に伝えるための作業に努めてきました。

今号は、三区毎にささげられた新年合同礼拝での豊かな交流の一コマを教師委員によって伝えていただきました。また「特集」に替えて大宮教会の「献堂式を迎えて」の喜び、感謝を伝えていただきました。この一年も各委員会・部会で開催された行事や集会についての執筆依頼に快く寄稿にご協力くださり、通信委員会一同心から感謝しています。ここに四十五―三三号をお届けします。(茨木)

婦人部だより

No.35

▼主、共にいませば

委員長 酒井 博子

二年前、この重責を果たすことができるだろうか、微力な者にとつて不安と恐れを覚えながら始まった委員長としての任期をまもなく終えようとしています。

神様はその時々、に強力なサポートを備えて助けてくださり、「苦しみではなく、すべては神から与えられた賜物です。恵みです。」(ロマ書十二章)のみ言葉を示し、励ましてくださいました。

全国教会婦人会連合第二十四期主題「主と共に働く宣教に仕え、福音の希望に生きる―マルコによる福音書を学びつつ―」の主題のもと、み言葉の恵みを頂きながら、託されたそれぞれの役割に真剣に取り組んで来ました。

その修養会を県北の深谷で行うことが出来、県内でありながら、なかなか行く機会がない場所でしたが、大勢の参加を得て感謝でした。また、深谷教会の積極的なご協力を頂き、二日にわたる修養会の終了後、林に囲まれた静寂な礼拝堂でパイオルガンの演奏会をしてくださいました。

地区の七カ所で行われる「もより婦人研修会」、「アジア教会婦人会議日本委員会一日研修会」(於富士見町教会)に大勢が参加し、それぞれに実り豊かな学びと交わりの時を持つことが出来ました。

三月には、世界祈祷日の集会が三カ所で行われました。今年度も「アジア学院研修生ホームステイプログラム」に協力することができました。各教会とも高齢化が進みホストファミリーとして受け入れが困難になりつつある中で、受け入れてくださった教会では良き交流が出来たことを伺い感謝いたしました。

また、昨年六月に開催された全国教会婦人会連合の全国委員研修会(於神戸)には、教区委員としての参加と有志の方が参加されました。主の教会に連なる埼玉地区一つ一つの教会を覚えて祈って行きますよう。(浦和東教会)

▼第四十二回関東教区教会婦人会連合総会・修養会

(六月二日(三日))

教区委員 後藤 紀子

二〇一六年度は、この会の当番地区であるという引継ぎがうまくなされないうまま、企画を始めなければなりません。しかし、人の思いをはるかに超えた神様のお導きを強く感じながら準備を進めることができ、感謝するばかりでした。

講師は、大津恵子氏(西那須野教会員)を迎え、日本で生活する外国籍の女性と子どもの人権を守るための活動を長年行ってきた体験から、「暴力をなくすためにできること」について語られました。

最近、子どもへの虐待や女性への暴力などがニュースで知られ、日本が何故、こんなにも悲惨な事件を頻繁に耳にする社会になったのかと問いかけられました。

二日目は、「子どもへの虐待」「人身売買」「夫や恋人からのDV」について、グループに分かれて話し合いました。他人事ではなく、私たちのすぐ近くに苦しんでいる人たちが沢山いるという事に気づかされました。最後に難民問題にも触れられました。この人たちに「二人で悩まないで」というメッセージを伝えることが大切であることを教えられました。日常生活に心奪われて過ごしている者には、目から鱗の日間でした。

開会礼拝は、法元聖親牧師(深谷教会)、閉会礼拝は、竹内成子伝道師(深谷西島教会)が説教をされ、「ただ信ぜよ」の賛美歌を声高らかに賛美し、会を無事終了することが出来ました。

当初の計画は、浦和のホテルで開催予定でしたが、料金が高く、経費もかかるうえ、温泉は無いなど会場設定に、委員一同苦慮しました。しかし、副委員長の廣前姉(深谷教会)の提案により、急遽、深谷を訪ね、「埼玉ランドホテル深谷」と交渉し、また、ホテル側のご理解とご協力によって会場を決定することができました。宿泊のホテル二カ所も確保しました。

が、果たしてどのくらいの参加があるか不安でした。当日の参加者三〇六名でした。うれしかったです。広い会場で丸いテーブルを囲み、和気あいあいとした雰囲気の中で、総会をし、講演に耳を傾け、共に食事とお交わりをすることができました。一日目のプログラム終了後は、三カ所にスムーズに分宿出来ました。

修養会終了後、深谷教会を開放していただき、さらに教会のパイオルガンによる演奏に一同は身も心も癒され、感謝しつつ帰路につきました。ご協力くださった地区婦人部の皆様、特に深谷教会の皆様には、ひと方ならないご協力をいただいで開催できました。とに心から感謝申し上げます。全て神様がお導きくださいましたことを深く感謝いたします。(和戸教会)

《予告》

*二〇一七年

◎地区婦人部総会

四月十七日(月)

◎全体研修会

七月三日(月)

講師…大島力教授(青山学院大)

学教授・大志宗教主任

どちらも新築された大宮教会が会場です。

もより婦人会研修会

《第一ブロック》

西川口教会 熊谷 芳江

九月二十一日(水)、西川口教会で六教会・四十三名の参加で行われました。水・木曜日の午前中は多くの教会で祈祷会があり、安行教会、川口教会には、ご迷惑をおかけしました。

礼拝説教は、島隆三師(東調布教会)の「みこころのままに」。講演は、クスマン典子氏の「がんばらないで」。アメリカ在住で、約一カ月間の日本縦断伝道旅行を計画中とのこと。

交通事故で三年間に十一回の手術をされた由。会衆一人ひとりに、「他人を責めないで赦しなさい。重荷をイエスのもたに持っていきなさい。軽くなります。ありのままです。」と語られました。

《第二ブロック》

浦和東教会 福井 官奈

十月十四日(金)、浦和東教会にて、七教会・四十五名の参加がありました。開会礼拝では、永井二三男牧師より「常に私達

と共にいてくださる主イエスに信頼せよ」とのみ言葉(マルコ四章三十五〜四十一節)が説き明かされました。

その後、宇梶紀子さんのアフリカ・ブルキナファソでの貴重な体験を通して、彼の地のクリスチャンの素朴で朗らかな信仰生活や、他民族他宗教が、平和に共存する知恵を学びました。日本が平和を愛する国として信頼されていると聞き、世界平和のために日本が果たすべき責任を痛感しました。

《第三ブロック》

愛泉教会 島田 恵満

秋風かおる十月二十二日(土)、愛泉教会にてもより婦人会研修会が行われました。八教会から約四十名が集まり、森田弘道牧師より『教会と社会福祉』と題してメッセージをいただきました。

戦前戦後の混乱の中、意思に反して与えられたミッシヨンを実行すべく、ただ神様の導きを信じて日本に渡り、『3K』を家庭(キッチン)、子ども、教会を重んじて多くの子どもたち、養育者に対する愛を行動で示されたキュックリッヒ宣教師の働きについてお聞きしまし

た。私もその宣教師に倣い、神様に繋がり、愛を実践できる女性になりたいとあらためて感じました。

また、蓑毛富子氏による讃美歌講習、楽しい昼食懇談会、愛泉苑の施設見学などを通して他教会の方々と主にある温かいお交わりの時が与えられ、大変感謝な一日となりました。

《第四ブロック》

西上尾教会 伊藤 陽子

十月二十九日(土)午後一時〜四時、西上尾教会にて、七教会・十九名参加。

開会礼拝説教、石神稔牧師が「女性たちが福音を担った」と、新約の女性たちの毅然とした信仰を紹介した。

講演は、「旧約の女性像」。石川榮一牧師(佐野教会)が、スライドによる映像で、バト・シエバ、ヨブの妻などの「両面性」を指摘された。人は、皆自分の両面性、正しい自分も正しくない自分も許容して初めて自由になれる。神も人の両面性をキリストを通して愛される、とその恵みを解かれた。

《第五ブロック》

鳩山伝道所 広瀬智恵子

十一月十一日(金)、鳩山伝道所にて八教会・伝道所の三十二名出席のもと、礼拝説教及び講演を藍田修牧師が担当され、マルコ福音書をはじめ旧新約聖書を通して、神様と私共の関係を深く学ばせていただきました。

神様は、人の罪を用いて一人残らず神のみ許に招かれる。神により生かされる者は主により蘇らされる。私どもは、多く赦された者故、感謝も多く現わすものである。私どもの罪と神の赦しを通して、神の愛の深さ、復活への希望を示され、感謝です。

信仰を共にする姉妹方とお交わりが与えられ、本当にうれしく、非常に有意義な会でした。

《第六ブロック》

初雁教会 宮腰千恵子

十月三十一日(月)、九教会・四十三名の参加で当教会において、町田さとみ牧師による開会礼拝では、信仰とは神様に全幅の信頼を置き、祈り委ねることであるということ学びました。つづいて講演では、「今、

再びルターを学ぶ」と題して、ルターが作詞・作曲したと言われる讃美歌二六七番「神はわがやぐら」を賛美しつつ、ルターの宗教改革とは、どういものかを学びました。神の赦しとは、免罪符のようなものを受け取るのではなく、また人間の行いや努力によって受け入れられるのではなく、ただ、神の一方的な恵みと愛によってのみ赦されるのだ、と。

《第七ブロック》

行田教会 川島 睦子

十一月二十二日(火)、四教会・二十九名が集い研修会を開きました。清水与志雄牧師による説教は「羊飼いの声を聴き分け、キリストに従う」。続いて同牧師による同じテーマでの講演でした。

最近のカルト問題にふれ注意を喚起されました。牧師は、熱中すると時間を忘れますが、カチャリと設置のビデオカメラの音で終わり。

隣接の幼稚園ホールで、カボチャ入りの豚汁で舌鼓をうちながらの交わり。ブロックの半数の教会の参加でしたが、どうすれば参加教会が増やせるか?が課題です。

アジア学院研修生
ホームステイプログラム

二〇一六年、アジア農村指導者養成学校（アジア学院）では、アジア、アフリカの国々から指導者の立場にある二十四名の方々を迎えました。研修生は四月から約八か月間、学院のモットーとする「共に生きる」との実践的カリキュラムの中で国籍、宗教、民族、習慣、価値観等の違いを互いに認め合いながら「仕える指導者」となるための研修に励まれます。

また、研修生は、自国の地域社会の「共同体形成」のための生活様式を見出すことに励み、創造主から与えられた自然と土地を大切に、「フードライフ」を日常的な経験の中で養うという指導者養成の研修の時を待ちます。

その様なアジア学院の年間研修計画の中の貴重なプログラムとして、このホームステイ・プログラムが位置付けられています。今年、六月四日（土）～六日（月）実施し、土曜日の午後は、西早稲田のキリスト教会館で婦人会連合主催の歓迎会をホストファミリーとともにいたしました。埼玉地区は、ミヤンマー（二人）とタンザニア（一人）の方が二家庭でお世話になりました。

アジア学院研修生
ホームステイ報告

〈未知の国から〉

東京聖書学校吉川教会
深谷美歌子

ミヤンマー北部のチン州からダイ族のメソジスト教会牧師、ヨー・リン先生が私達の教会のホームステイに来てくださいました。



お話を聞くと、チン州は二十キロメートルの山岳地帯で、人口約四十万人。少数部族だそうですが、一九七〇年代に宣教師が来てくださり、福音宣教が進み、現在では九十%がクリスチャーンということ。他の地域は仏教やアミニズムとのこと。車が通れないので、電気が使える所まで二日歩いて、そこで、ネットなどにつないで、フェイスブックを更新するそ

うです。今回来日するにあたり、そこからさらにバスで二日、空港から八時間で日本に着いたそうです。訪ねてみたいととても思いました。

その地域に伝道するには、農業技術も必要なため、アジア学院に来られたとのことでした。

二日目の午後は、礼拝後、当教会の兄弟がコストコやスカイツリーの下まで案内してくれました。夕拝を五時三十分からしているの、それまでに帰られて、ミヤンマーの賛美歌を歌ってくださいました。控えめですが、優しく熱心な牧師でした。



ヨー・リン牧師を囲んで 2016年6月5日 昼食後に

た。アジア学院に滞在中の奥様との交信は、祈りだけのことでした。

〈六カ国目の友だちを迎えて〉

所沢みくに教会 高崎 和子

今年もまた、タンザニアと、ミヤンマーからの研修生二人を迎えました。



お二人の研修生と最上光宏牧師

日曜日は子ども教会に参加し、丁度、花の日礼拝だったので駅前交番へお花を届け、航空公園へ行き、子供たちと共に過ごし、夕方からは教会員大人も子どもも一緒に、楽しいバーベキューをしました。

子供たちは、遠くの地に住む友だちを思い、今年で六カ国目

の友だちを迎えた事を喜んでいきます。又、タンザニアの方からは日本はなんでもあっていいですね。僕の国は、子供たちは、学校へ行くことも出来ず、先ず仕事をしなければいけないと。

子供たちは、これを聞き何と感じたか…。

牧師夫人と女性教職の集い

深谷西島教会 竹内 成子

二月七日（火）朝十時から昼食後の二時まで、熊谷教会において、埼玉地区十七教会伝道所の牧師夫人・女性教職・逝去された牧師の夫人が十七名集い、恵みの時を持たせていただきました。

社会的・宗教的・身体的癒しを与えられる主イエス様を礼拝し、御名を賛美しました。

寂しさや孤独をかかえる牧師夫人も、与えられた賜物に従って自由に自分らしく祈り、活動できると励まされ、「球根の中には」を共に賛美しました。

お交わりの中でも、教会にその方が存在しておられる事が、全体の益になることが示され、神様に感謝しました。